



2022年10月24日

株式会社 阿波銀行

株式会社ビーエス工機の「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまの SDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、株式会社ビーエス工機（代表取締役 三木 桂子、本社：徳島県徳島市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	株式会社ビーエス工機
所在地	徳島県徳島市東沖洲二丁目 1 番 12
代表者	三木 桂子
業種	管工事業
設立	1978 年 4 月 6 日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。



株式会社ビーエス工機 代表取締役 三木 桂子

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール
社会・経済	労働時間の是正	過重労働、長時間労働の発生防止にむけて取組みを行い、PDCAを回しながら適切な労働時間管理を推進します。	① (1)方針・社内規程の見直し (法定年次有給休暇の取得) (2)働き方に関する社内対話の実施 (3)残業について社員との定期的な対話	
			② (1)2023年度までに規程・方針を見直し 全社員へ通知 (2)2023年より年1回実施 (3)労使懇談会を年1回開催	
環境・経済	移動・輸送における環境配慮の推進	社有車、従業員の移動、製品の輸送などにおいてより環境に配慮した手段を選択します。	① (1)ハイブリッドカー・電気自動車の導入 (2)リモート会議の推進による出張営業訪問に伴うCO2排出量の削減	
			② (1)2027年度まで導入率10% (2)2025年度までに出張・営業訪問に伴うCO2排出量10%削減	
社会	情報漏えいの防止	各種機密情報の保護の重要性を従業員全員が認識し、情報漏えい防止に努めます。	① (1)顧客情報取り扱いに関するマニュアル制定 (2)情報漏えいに関する研修実施	
			② (1)2025年度までに作成、社員に配布 (2)年1回研修を実施	
環境・社会・経済	災害・事故・事業リスクの未然防止	災害や事故等の有事においても、事業を復旧・継続するため、対応し得る万全の準備を行います。	① (1)事業継続計画(BCP)の策定 (2)食糧・飲料水の備蓄 (3)防災訓練の実施	
			② (1)2025年度までに策定したBCPを全社員へ周知 (2)2027年度までに社員の備蓄完了 (3)防災訓練を年1回開催	

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。